

浅海定線調査結果(令和4年7月7日)

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所

1. 観測結果

	令和4年7月	平年値との差 (平年値)	昨年7月との差 (昨年7月観測値)	
水温 (℃)	表層	27.3	+ 3.2 (24.1)	+ 1.9 (25.4)
	底層	25.6	+ 3.9 (21.7)	+ 2.3 (23.3)
塩分 (PSU)	表層	32.65	+ 2.32 (30.33)	+ 0.78 (31.87)
	底層	33.02	+ 0.88 (32.14)	+ 0.73 (32.29)
透明度 (m)	5.0	+ 0.4 (4.6)	+ 0.0 (5.0)	

- ※ 観測値 : 周防灘12定点の平均値を表しています。
- ※ 平年値 : 過去30年分の同月平均値を表しています。

2. 概況

(1) 水温

- ・表層、底層ともに甚だ高めでした。

(2) 塩分

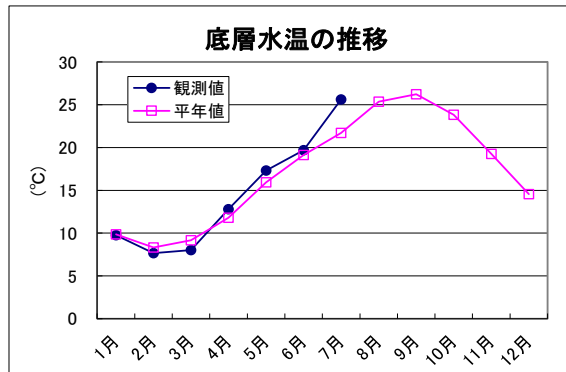
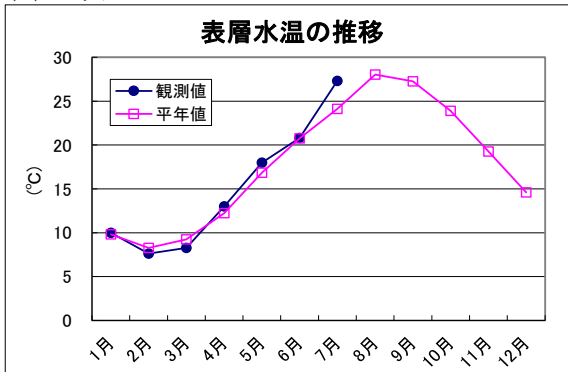
- ・表層はやや高め、底層はかなり高めでした。

(3) 透明度

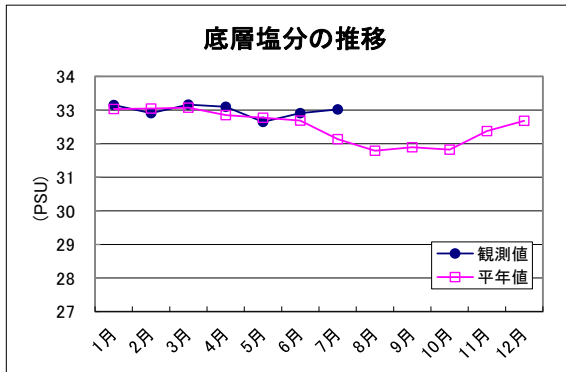
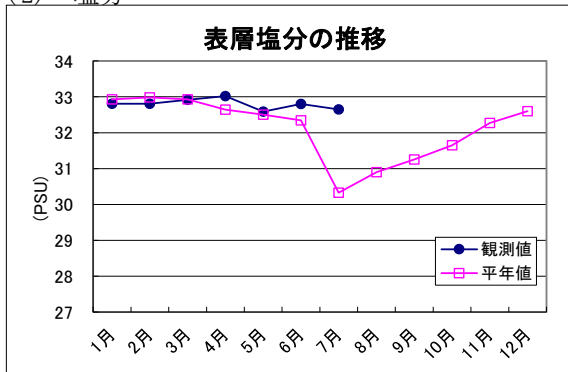
- ・透明度は平年並でした。

調査結果(グラフ)

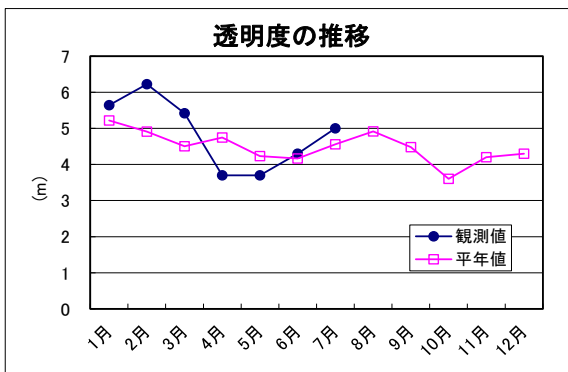
(1) 水温



(2) 塩分



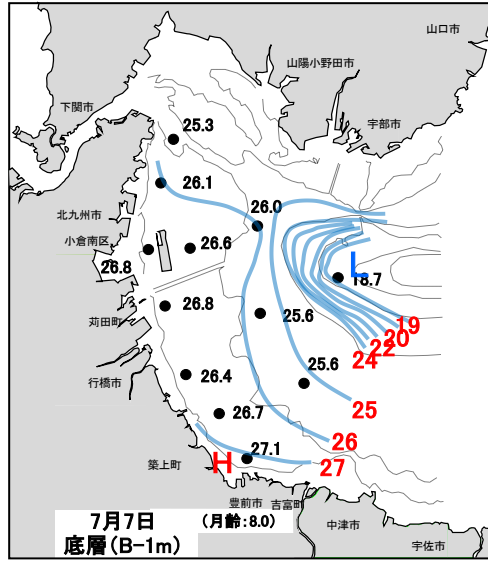
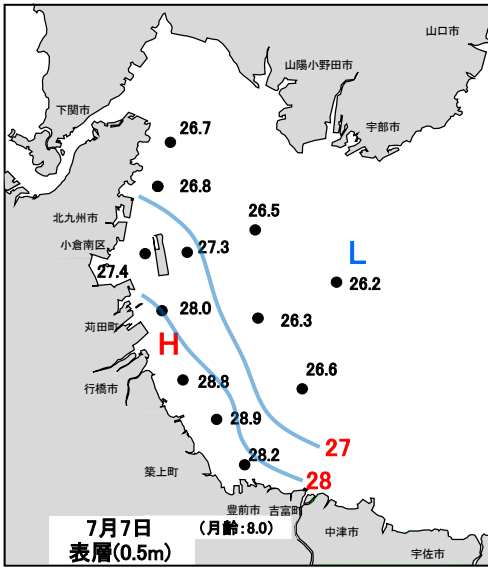
(3) 透明度



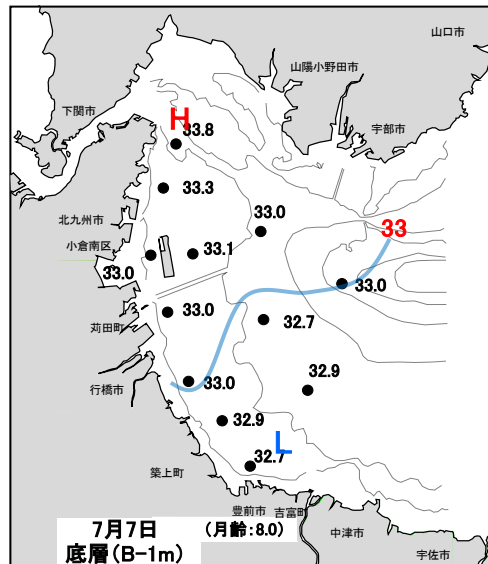
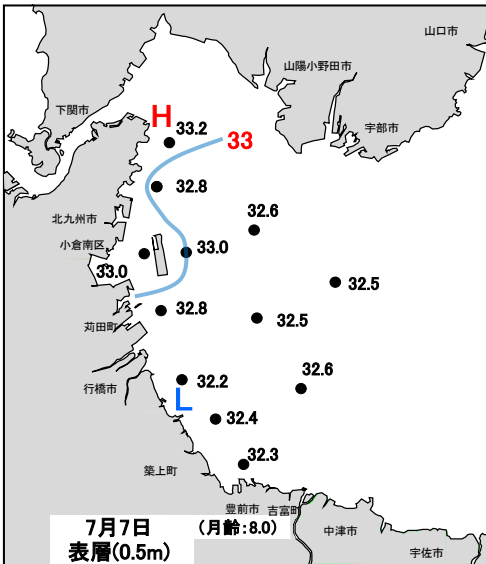
3. その他

- ・ 調査海域で赤潮による海面の変色や貧酸素の発生は見られませんでした。
- ・ 透明度は南部の沖合は高いものの、沿岸域では低下が見られます。
- ・ 複数の調査点で小型のクラゲが確認されましたが、数は多くはありません。
- ・ 北部と南部の沿岸域調査点の表層と5 m層の海水中に麻痺性貝毒プランクトンは確認されませんでした。

水温



塩分



透明度

